

## 小網代の森散策報告（平成 31 年 05 月 04 日）

1 月のビスターリ例会で、石井さんから「小網代の森」の“カニの求愛ダンス”を見に行きませんかのご提案があった。これが 4 月の例会で日程が決り参加を募集して、結局石井 (L)、伊藤、荻野、神田 (玲)、早坂、松山、三浦、柳沢、陽田の 9 名が出かけることになった。ちょうど京浜急行が「まぐろ切符」（電車と三崎港付近での鮪料理をセットにしたもの。例えば横浜駅からでは¥3,400）なるものを発売しているので、これを利用して三崎港で鮪を肴に反省会をやろうという趣向だ。

4 日は「10 連休」の真只中なので城ヶ島・油壺へ行く行楽客で大混雑も予想された、それで当初「10 時三崎口集合」が急遽「9 時集合」に変更された。当日は勿論晴れ、しかしリーダーから念の為傘だけはお持ちくださいとのご注意があった（気象情報では午後になると、天候が不安定になり雷雨もあると。その通りになりました）。皆さんそれぞれ 9 時前には三崎口駅前に集合されたが、人数を数えると 8 名で 1 名不足、電話がきて「逗子に来てしまったので少し遅れます、すぐ追いかけます」とのこと。ああやっぱりあの人かと納得、なんせ前科何犯ですから。

「小網代の森」入口まではバス（5 分）か歩く（30 分）か迷ったが、まだそれほど混んではいないのでバスに乗った。9 時 15 分にはバス停「引橋」に着いた（バス停辺りで海拔：約 55m か）。ここから林の脇のがたがた道を少し下って行くと直ぐ 9 時 20 分に「小網代の森」入口についた。ここには管理用の建物が建ち、入口道に低い柵がある。自転車などが入れないようにするためだろうか。

両側を緑の木が茂る谷あいになり、中央に立派な幅 1.5m 位の「木道」（但し踏み板はプラスチック製）で下って行く。木はコナラのような落葉樹とマテバシイのような常緑樹が混じっているようだ。あちこち木に絡まった藤の花が満開に咲いている。少し下って行くと小さな流れが現れた。そして立派な羊歯の群生地になる、谷は幅が広がってきて湿地の象徴の葦が現れた。眼前及び両側は立派な緑（の木）に囲まれていて、木の緑と空の青きり見えない、別世界の如き良い雰囲気である。

1km ほど歩くと「やなぎテラス」という板でできた丸形の小広場に着く。まわりにやなぎの木が多いのでこの名が付いている。このやなぎも湿地を好むらしい。周りにはシオヤトンボが沢山飛んでいて、木道の上で羽を休めている。ここで遅れてきた人も揃い全員合流した。10 時 15 分に約 300m 先の「えのきテラス」に着き、本格休憩とした。ここに NPO の「小網代の森」の管理人（ボランティアだろう）が 2 人いて、いろいろ説明してくれた。「小網代の森」は「神奈川トラストみどり財団」が京浜急行、他の地主から 70 億円で買い取り（“ナショナルトラスト運動”）、遊歩道を 2 億円掛けて作った。それにトイレには 5 千 7 百万円かかったという（トイレにこれだけ費用が掛かるのは独立の浄化設備が必要だからだ）。ここの干潟は狭いせいか、「ラムサール条約」など公の規制の対象ではないので、干潟を護るために近隣の漁業関係者などをお願いしてなんとか維持しているという苦労話も聞いた。また小さな虫籠の中に数日前に捕まえてきたという数匹の「アカテガニ」（手：ハサミが赤色）を見せてくれた。このカニは通常は湿っぽい草地、岩地など森の中に生息していて、夏の大潮のときのみ海に出て来て、放仔（産卵ではない）するという生態をもっていると。そして子カニは暫くのち森／山に帰って行く。またここは蛸狩りも良いらしい。

「えのきテラス」の100m先に浜辺の干潟があり、そこで小さな体長1cmほどのカニ「稚児(チゴ)ガニ」の“求愛ダンス”を見ることができた。ハサミは白色で、雄が両ハサミを振り上げてバンザイのような仕草をする。狭い干潟だが何十匹となく“ダンス”をしていた。

「えのきテラス」で軽食の小休止を採ってから、帰途に着く。まだ11時で早いので、どうするか議論があったが、結局トイレに寄ってから来た道に戻り「引橋」からバスで帰ることになった。“5千7百万円のトイレ”は少し先の「宮ノ前峠入口」の先にあった。11時15分にそこから引き返して、今度は木道を登る。「引橋」から少し入った手前の所に、「ひげ爺の栖(すみか)」なるレストランがあるので、ちょうど12時だしそこに入り込んだ。

普通の住居をそのまま利用しているようなただずまいで、テーブル席はあるのだが、9名では座れないので、座敷になった。部屋の外では鳥がうるさいくらいの声で啼いている。ウグイスは分かるが他の鳥の名前は分からなかった。メニューは“ハーフ&ハーフ”という丼物があり、全員鮪のづけと他の物との“H&H”にした。飲み物は勿論ビールとその他が混じることになった。

皆さんは洗濯後干す時きちんと引っ張ってしわを伸ばしますか(小生はあまりやってません)、とか“コンマリさん”(近藤麻理恵)は凄い、今やアメリカでも引っ張りだこの有名人だとか、例えば何年着なかったら廃棄するか、私などは戦中派で物を捨てるのは罪悪という考えなので、家の中は物(否不用品?)にあふれている、などと生活臭の濃い話題だった。三浦さんがスマホの写真で「トイレの中では飲食しないでください」というのを見せてくれた。どこかデパートかスーパーのトイレに表示してあったとか。我々年寄世代では「トイレは清潔ではない」という考えで、中で飲食するなどもつての外と思うが、今の若い人達の間では“汚い”とは思はなくなったのだろうか。「トイレの神様」という歌がNHKの紅白に出てくるくらいだし。しかし、どうもトイレの中で飲食するのは若者だけではないらしいと。「いやあ、トイレで新聞を読むことだってあるよ、考え事もできるし。」同感です。お年寄りでは自分の家では食べることを許されず、公園のベンチなどで食べているのを見かけるし、家のタンスの中からおにぎりなどが出てきたなどから察するに、トイレの中でも食べているのか。身につまされる話だ。

ちょうど2時間居座って、14時にお開きになった。表通りに出てバス停を探すのだが、小生が間違えてバスの上流方向にミスリードしてしまった。どんどんバスが来るが約200m歩いてもバス停が見つからないので、後戻り、最初の道の先200m位にバス停があった。ところが今度はバスが来ない、さっきはあんなに続けて来ていたのに。10分位待って来たバスで三崎口駅に戻り、皆さん京急で戻るはずだが、ここで解散とした。

「小網代の森」は緑が多く、気分が安らぐというか気持ちがよい場所であった。反省会も真っ昼間なので、アルコール量は若干少な目でご不満の方もおられたかもしれませんが、いろいろ面白い話題を提供していただき、有難うございました。また紹介、案内していただいた石井さん、有難うございました。

以上 陽田